

地域“あいあい”ほっとミーティングを開催



10月3日から18日にかけて、町内4会場で町民対話「地域“あいあい”ほっとミーティング」を開催し、134人が参加しました。

町では、町長との意見交換を通して町民の皆さんに町政について理解と関心を持っていただくとともに、伺った意見をまちづくり反映させるよう努めています。

今回のほっとミーティングでは、町のエネルギー政策や子ども・子育て施策、JR美浜駅前のにぎわいゾーン整備等、町の主要な施策について説明を行った後、参加者からの質問や意見に対して町長や担当課長等が回答しました。

今月号では、対話の中でいただいた質問や意見の一部を紹介します。

日時	会場	集落	人数
10月3日(木)	保健福祉センターはあとびあ	河原市、南市、和田、木野、佐柿、麻生中寺、宮代、小三ヶ、新庄、野口、佐野上野、興道寺、雲谷、小倉、栄	38人
7日(月)	美浜西小学校	気山、大藪、金山、久保、郷市、松原、久々子、矢筈	25人
17日(木)	北西郷公民館	早瀬、笹田、日向	17人
18日(金)	美浜東小学校	坂尻、山上、太田、佐田、北田、菅浜、竹波、丹生、けやき台、美し野	54人

伝統文化(祭りや神社等)の継承について

問 人口減少による祭り等催事への担い手不足や神社等の経年劣化による修繕費の不足等により伝統文化の継承が困難になっている。地域の文化を守るための補助制度等の支援をお願いしたい。

答 現在実施している集落元気づラン推進事業等を活用いただきたい。町としても、その制度の拡充についても検討していきたいのでご意見があれば、ご連絡いただきたい。



↑弥美神社例大祭 王の舞

久々子湖周辺の違法駐車について

問 久々子湖周辺の道路沿い等に違法駐車があり、区の奉仕作業(除草作業等)ができないことがある。駐車禁止の看板を設置する等対処してほしい。

答 駐車禁止にすると住民の方も停められなくなる等の問題があるが、警察や住民の方とも相談し、対処したい。

有害獣対策について

問 以前、獣害対策として、柵を町で設置してくれたが、メンテナンスは誰がするのか。また、イノシシや猿等による農作物等への被害が出ないように対応をお願いしたい。

答 町で設置した獣害柵は、各集落で管理をお願いしたい。被害対策については、パトロールの強化や捕獲檻の設置等、猟友会とも連携して対処したい。



学童保育について

問 学童保育について、預かってもらえる要件の緩和をお願いしたい。また、居住地近隣で預かってもらえる場所の確保についてもお願いしたい。

答 要件の緩和や場所の確保について検討していきたい。また、今年度から放課後子ども

教室のトライアル事業を実施している。子どもの居場所づくりを進めていきたい。

町及び各種団体から依頼される委員について

問 各集落へ町及び各種団体から委員の推薦を依頼されるが、人口減少や高齢化に伴い、なり手不足が深刻である。集落側の人材育成も課題だが、依頼する側(町等)も再考してほしい。

答 委員のなり手不足が深刻化している現状については町としても認識している。

令和元年にも同様のご意見をいただき、区長配布物の集約・集落へ依頼する委員の見直し等を実施したが、前回の見直しから数年が経過していることから、現在、現状を把握するための再調査を行っている。本調査結果を踏まえ、各種委員等の必要性等、今後の方策を検討していく。

町からの情報(配布物等)のデジタル化について

問 町からの配布物や連絡等をデジタル化してペーパーレス化を進め、効率的な連絡体制を整備してほしいか。

答 町からの配布物や連絡手段のデジタル化は、ペーパーレス化、配布作業の省力化、災害時の迅速な対応等、さまざまなメリットがあるが、デジタル化に伴い、不便を感じる方や町からのお知らせや情報が届かなくなるおそれがあることも課題としている。町からの情報がすべての方へ確実に届くことを最優先に、現状の情報媒体を活用しつつも、デジタル端末の普及・利便性向上に取り組みながら、段階的にデジタル化を進めていきたい。

元気な集落を展開するための補助制度の確立について

問 集落元気づラン推進事業は、集落の活性化の起爆剤としては評価できるが、一過性のものとならないために、継続的な補助制度の確立を要望する。

答 現行補助金は、柔軟に設計された利用しやすい制度となっており、各集落においてプランを策定され、活用していただいている。今後は、集落活動の新たな展開や他集落を巻き込んだ事業拡大等、先進的な取り組みに対する支援について検討していきたい。

みはまシナプスプロジェクト

～美浜町の人づくり

学校教育・社会教育・地域でつくる「学びと挑戦」～

生涯学習センターなびあすから JR 美浜駅までのエリアに「美浜らしいにぎわい」をつくることを目標とした「みはまシナプスプロジェクト」。

今回は、美浜らしいにぎわいをつくっていく上で外せないポイントの「人づくり」についてお伝えします。

○ 目指す「人づくり」とは

みはまシナプスプロジェクトが目指す「人づくり」 → 「学びと挑戦を育む」

子どもから大人まで「自分の興味・関心に沿って、学びながらアクションを起こし、挑戦を楽しむこと」を大切に、「その場づくり」に力を入れています。

人生 100 年時代。これからは「経験・表現・挑戦」が豊かな人生を送るための鍵となっていくと考えます。

YouTube 動画を制作しています！

このような思いを広く知っていただきたいと「美浜町の人づくり 前編・後編」という動画を制作しました。

町長が「人づくりにかける思い」を語っているほか、町内の小学校教諭や放課後教室サンのスタッフがこれからの時代に必要な学びについて話しています。二次元コードを読み込んで、ぜひご覧ください。



前編



後編

○ 目指す「人づくり」の実現に向けて - 11月3・4日 わたしたちの『学び』を届けよう！を開催 -

平成 30 年度から「ふるさと美浜元気プロジェクト」が小学校の取り組みとして始まり、令和 5 年度には「遊びながら学ぶ」ことを実践する場として放課後教室サンが始動しています。町では学校教育と社会教育の両輪がうまく機能し、地域と接続していく取り組みを進めています。今回のイベントで目指したのは「子どもたちが自分の学びを伝える挑戦」という機会を創出し、「子どもたちに育みたい力」を学校教育と社会教育という両面から後押しするということでした。

当日は、積極的に大人に声をかける姿や自分たちが学んできたことを一生懸命伝える姿が印象的でした。

当日は、積極的に大人に声をかける姿や自分たちが学んできたことを一生懸命伝える姿が印象的でした。



↑ 来場者にアンケート調査を行う小学校の児童たち



↑ サンの塾生が考案した「へしこめかり」を楽しむ参加者たち

これからも多様な方との交流や美浜をフィールドとした多くの活動・体験を通して学べる場づくりを大切にしていきます。

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・大同) ☎32-6701

11月7日に、町役場で海面漁業者との「地域あいあい」ほっとミーティングを開催しました。

当日は、美浜町漁業協同組合の高橋武一組合長ほか、役員9人が出席され、漁業の現状や担い手不足等の課題について意見が交わされました。

漁業者の担い手不足への支援について

問 人口減少や高齢化等により、漁業者(定置網の乗組員)不足が深刻であるため、支援をお願いしたい。また、町内外に新規乗組員の募集等をしているが、町外の方を乗組員として採用するには、宿泊施設の確保が必要であるため、その点についても支援してほしい。

答 担い手不足への支援として、新規就業者への研修事業や貸付金事業等を実施している。宿泊施設の確保については、空き家や民宿の活用ができないか等、支援について検討していきたい。



↑ 海面漁業者とのほっとミーティングの様子

問 漁場付近の法面が土砂崩れし、流木や海水の濁りが発生している。定置網や海域の魚への影響が甚大であり、対処をお願いしたい。

答 漁場付近の法面の土砂崩れについては、現場を確認して監視計を設置し、常時監視を行っている。今後の対策については、道路管理者である県とも協議し、崩落防止等の法面対策について県に要望をしていきたい。

漁場付近の土砂崩れ対策について

ご意見・ご要望をお聞かせください!!

町では、皆さまの町政に対するご意見やご要望を、下記のとおり随時受け付けています。ぜひ、お気軽にご活用ください。

○ これまでにも多くのご意見・ご要望をいただいています！

- (例)
- ・ 国道27号敦賀信用金庫前道路改良工事について
 - ・ ふるさと納税について
 - ・ 保育園の主食持参について
 - ・ 子育てに関する要望について
- 等



美し・ふるさとご意見箱(はあとびあ)

【美し・ふるさとご意見箱】

- ・ 町役場1階町民プラザ
- ・ 生涯学習センターなびあす
- ・ 総合体育館
- ・ 保健福祉センターはあとびあ
- ・ 東部診療所
- ・ きいばす

【美し・ふるさとご意見メール】

ホームページのお問い合わせフォームからご利用ください。

町ホームページ
二次元コード



※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・藤田/高木) ☎32-6701

10月25日・26日に、県主催の原子力総合防災訓練が行われました。
 今回の訓練では、地震により大飯発電所が外部電源を喪失。その後、全面緊急事態まで進展。放射性物質が施設外に放出される事態を想定して実施されました。

訓練には、大飯発電所から半径30km圏内の県内嶺南5市町（敦賀市以外）に加え、国や福井県、京都府、滋賀県、兵庫県、自衛隊、消防、電力事業者等の関係組織・機関が参加し、町からは、西郷地区の住民約120人が町外への広域避難訓練に、また、それ以外にも多くの方が屋内退避訓練に参加しました。

町では、町原子力災害対策本部の運営訓練として、町原子力災害現地対策本部（現地オフサイトセンター／大飯）とのテレビ会議による情報共有や町民への情報伝達訓練等を実施するほか、災害状況の確認、住民への周知及び防護措置の実施等、原子力災害時に町や住民がとるべき行動等を確認しました。

今回の訓練内容

■目的

- ①大飯地域の広域避難計画（緊急時対応）に基づく避難手順の確認
- ②原子力緊急事態における対策本部と現地の体制や情報伝達手段等の確認
- ③原子力災害対策に係る要員の技能の習熟 等

■町での訓練内容

①職員参集及び町原子力災害対策本部・大飯オフサイトセンターでの町原子力災害現地対策本部運営訓練

- ▶警戒事態から全面緊急事態、放射性物質放出に至るまでの災害対策本部会議、合同対策協議会への参加
- ▶大飯オフサイトセンターや県（国）とのテレビ会議による情報共有



↑合同対策協議会（大飯オフサイトセンター）



↑各機関をつなぐテレビ会議（町役場）

②住民への情報伝達訓練

- ▶防災情報伝達システム（屋外スピーカー、戸別受信機、ホームページ、防災アプリ）、行政チャンネル、緊急速報メール等

③屋内退避訓練【町内全域】

- ▶町原子力災害対策本部からの屋内退避指示に基づき、自宅等において訓練を実施



↑防災アプリ



↑屋外スピーカー

④広域避難訓練【西郷地区（美浜西小学校区）】

- ▶大飯発電所から半径30km圏内（西郷地区）の住民の町外（大野市）への広域避難

⑤消防団活動訓練【西郷地区（美浜消防団第4分団）】

- ▶地元消防団により避難の呼びかけ、一時集合施設への誘導、区内の見回りを実施

⑥安定ヨウ素剤配布訓練

- ▶バス避難：一時集合施設のバス車内で看護師・保健師等の問診を受け配布
- ▶マイカー避難：美浜西小学校でドライブスルー方式により看護師・保健師等の問診を受け配布

⑦スクリーニング検査

- ▶避難経路途中の敦賀市総合運動公園で実施

⑧住民講習会

- ▶避難先（大野市：富田公民館）にて、放射線やスクリーニング等の基礎知識についての講習会を開催



↑一時集合施設から大野市へバスで避難（北西郷公民館）



↑避難する住民の受け入れ（北西郷公民館）



↑避難する住民のスクリーニング検査（敦賀市・総合運動公園）



↑避難するバスの汚染検査（敦賀市・総合運動公園）



↑原子力防災の基礎知識についての講習会（大野市・富田公民館）

<戸嶋町長 訓練講評>

訓練最終日には、大飯オフサイトセンターで訓練の講評が行われ、戸嶋町長は「この訓練の実施に際し、大野市をはじめ、ご尽力いただいた国、県、関係機関の皆さまに心より御礼を申し上げます」と感謝を述べた後、次の2点を提案しました。

①防災アプリ等を利用した原子力災害時の事態の進展及び避難等防護措置状況の可視化
 ▼迅速な状況把握と次の行動に備えた住民の準備、円滑な避難等につながる。

②監視カメラ増強等により避難道路の監視強化
 ▼避難道路上の危険箇所にあらかじめ監視カメラを設置し、監視を強化することで、道路被害状況を随時把握することができ、避難道路の迅速な特定による円滑な避難等が行える。

以上のことを踏まえ「本町としても、課題等を洗い出し、検証する等、さらなる防災体制の充実強化や住民意識の向上、円滑な避難等につなげていきたいと思います」と講評を締めくくり、訓練結果を今後の原子力災害対策へ反映する考えを示しました。

※お問い合わせ先
 町エネルギー政策課
 危機管理対策室(担当:志賀)
 ☎ 32-6716

↓仮装してダンスを踊る子どもたち



お菓子をくれなきゃ、イタズラするよ？ ちびっこハロウィン

10月29日に、ちびっこハロウィンがはあとぴあで開催されました。
この催しは、子どもたちにハロウィンの楽しさを味わってもらうために子ども・子育てサポートセンターが企画したものです。
当日は仮装した子どもたちが、ゲームやダンス等を楽しみ、会場は笑顔にあふれていました。

↓どんぐりゴマ作りを教わる児童たち



昔はこんなふうにご遊んでいたんだ！ 昔の遊び・河童踊りを体験

10月29日に、美浜東小学校の1、2年生が昔ながらの伝統的な遊びや河童踊りの体験を行いました。
当日は、佐田伝統文化保存会のメンバーを講師として招き、児童たちはさまざまな遊び等を教わりました。
児童たちは、講師の手ほどきを受けながら、どんぐりゴマ作りや紙飛行機作り、佐田伝統文化保存会が河童伝説をもとに作成した河童踊り等を体験していました。

↓美浜中央小学校による合唱



練習の成果を音に込めて 美浜町小・中学校音楽学習発表会

11月15日に、令和6年度美浜町小・中学校音楽学習発表会がなびあすで開催されました。
発表会では、町内3小学校の5年生と美浜中学校の生徒及び吹奏楽部員が、合唱や合奏を披露しました。
参加した児童、生徒たちは、この日の発表に向けて練習した成果を発揮し、息の合った合唱や合奏をするとともに、他校の発表に聞き入っていました。



↑美浜西小学校の児童による合奏

↓植樹した桜の周辺を除草する参加者



桜咲く美しい公園へ 美浜「美しの森」公園除草作業

11月4日に、若狭美浜インター産業団地横にある美浜「美しの森」公園の除草作業が行われました。
当日は、美浜ライオンズクラブの会員をはじめ、平成30年に行われた同公園での桜の記念植樹に参加した町民ら約40人が参加しました。
参加者らは、自分たちが植樹した桜の木を中心に、丁寧に除草作業を行っていました。

↓北前船船主集落について講師の話を聴講する早瀬区の方々



地域の歴史について学ぶ 早瀬区 日本遺産・北前船学習会

11月10日に、日本遺産・北前船船主集落と早瀬区についての学習会が早瀬観光センターで行われました。
この学習会は、本町が日本遺産に認定されたことを受け、早瀬区と早瀬伝統街並み保存会が、構成文化財や歴史を学び、地域活性化を図るため企画したものです。
当日は早瀬区民30人が参加し、町歴史文化館館長の講義を熱心に聞き、活発な意見交換が行われました。

↓評価された開放感のある外観



魅力発信・世代をつなぐ道の駅 はまびより グッドデザイン賞受賞

10月16日に、道の駅若狭美浜はまびよりが「2024 グッドデザイン賞」を受賞しました。
この賞は、生活の質の向上や社会発展への貢献等で優れたデザインを顕彰することを目的としています。
今回、はまびよりの入りやすく開放的で町を見わたすことができるデザイン設計や地域の情報発信と多世代が集える場所等という点で高く評価されました。

↓サツマイモ掘りをするせせらぎ保育園の園児たち



おつきいお芋がたくさん！ せせらぎ保育園 サツマイモ掘り体験

10月21日に、せせらぎ保育園の4歳児と5歳児によるサツマイモ掘り体験が新庄大谷原で行われました。
この体験は、子どもたちが作物の生育や収穫に関わることで、食育と地域との交流を図ることを目的に行われ、当日は保護者や地域のボランティアも参加しました。
園児たちは、勢いよく土を掘り起こし、たくさんのサツマイモを収穫していました。



まちウォッチング atching